

AI 時代之台灣日語教師的職責

賴錦雀

台灣 東吳大學日本語文學系 教授

摘要

本論文的主旨在於闡述 AI 時代台灣日語教師的職責。日語教育乃是語言文化教育的一環，教師必須能夠連結語言教育和文化指導，因此，思考台灣日語教師在 AI 時代的職責乃是要務。本論文首先從形態素解析、感情表現可視化的 AI 文字探勘、智慧音箱、google 翻譯等觀點考察 AI 在日語教學的應用之後，接著探討做為第二語言的日語教育與作為外語的日語教育之異同，並闡述個人對於台灣日語教師的資質及職責之己見。AI 時代的台灣日語教師之職責為在認知機器優於人類的功能、非人類無法達成的事務、由「知識勞務」轉為「知能勞務」的變化、問題解決能力養成的重要性之上，具備日本語學知識、日語教育學素養和電腦能力，然後透過日語教學來指導學生培養 AI 時代所必備的各項能力。

關鍵詞:AI 時代，台灣，日語教師，職責，電腦能力

受理日期:2020 年 08 月 25 日

通過日期:2020 年 10 月 23 日

The Role of Taiwan Japanese Teachers in the AI Era

Lai, Jiin-Chiueh

Professor, Department of Japanese Language and Culture,
Soochow University, Taiwan

Abstract

This paper describes the role of Taiwan Japanese teachers in the AI era. Japanese language education is a part of language and culture education. It is necessary to consider the role of Taiwan Japanese language teachers in the AI era, as a Japanese language teacher who can link language education and cultural understanding guidance is necessary. In this paper, I first consider the use of AI in Japanese language education from the viewpoints of AI text mining, smart speakers, Google translation, morphological analysis, and visualization of emotional expressions, then discuss the differences between JSL and JFL. I gave my personal opinion on the qualities and roles required of language teachers. The teachers role is to recognize that machines can do things more efficiently than humans, what only humans can do, changes in working style from "knowledge labor" to "intelligent labor", and the importance of training problem-solving skills, and, have knowledge of Japanese language, knowledge of Japanese language education, computer literacy, and let learners acquire the skills needed in the AI era through Japanese language education.

Keywords : AI era, Taiwan, Japanese teacher, role, computer literacy.

AI時代における台湾の日本語教師の役割

頼錦雀

台湾 東呉大学日本語文学科 教授

要旨

本論文は AI 時代における台湾の日本語教師の役割についての論述である。言語文化教育の一環である日本語教育は言語教育と文化理解指導との連携ができるような日本語教師が必要であるので、AI 時代における台湾の日本語教師の役割を考えるのが要務である。本論文ではまず、形態素解析、感情表現の可視化という AI テキストマイニング、スマートスピーカー、グーグル翻訳の観点から日本語教育における AI 利用を考察した後、JSL 教育と JFL 教育の異同点を論じ、台湾の日本語教師に求められる資質と役割に関する私見を述べた。機械が人間より効率よくできること、人間にしかできないこと、「知識労働」から「知能労働」への働き方の変化、問題解決能力の養成の重要性を認識した上で、日本語学知識、日本語教育学素養、コンピュータリテラシーを持ち、日本語教育を通して AI 時代に必要とされる能力を学習者に身に付けさせるのが教師の役割である。

キーワード：AI時代、台湾、日本語教師、役割、
コンピュータリテラシー

AI 時代における台湾の日本語教師の役割

頼錦雀

台湾 東呉大学日本語文学科 教授

1. はじめに

本論文では AI 時代における台湾の日本語教師の役割について考えたいものである。日本では人間と AI の協力によって作られた小説が星新一賞の一次審査を通過したし¹、「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトの主役の AI が 2019 年大学入学センター試験英語筆記科目において 185 点 (200 点満点) を獲得した²ことによって、AI で語学学習ができるから外国語教師なんか要らない、という主張がますます高まるようになるのではないかと危惧される。

日本語教育は言語文化教育³の一環であるので、台湾の日本語教育では言語教育と文化理解指導との連携ができるような日本語教師が必要である。われわれ台湾の日本語教師は AI や機械にできることを AI と機械に任せて、そして AI と機械にできない言語と文化理解の連携を目指して努力しなければならないものである。

日本語教育における AI について考える前に、まず台湾の学習者における学力のことは見てみたい。経済協力開発機構 (OECD) では国際的な学習到達度調査「Programme for International Student Assessment」(略称 PISA) が 3 年おきに行われている。測定内容は読解、数学、科学の三部門であるが、その目的は義務教育を終了した段階 (15 歳) における学童が身に付けてきた知識や技能を実生活で直面する課題にどの程度活用できるかを測定することである。台湾は 2006 年から参加しているが、日本語学習に関係している読解の部門では 2006 年からずっとあまり芳しくない結果になっている。

¹ 野口 (2018 : 104) によれば、AP 通信は、2014 年 7 月から、アメリカ、オートメテッド・インアイツ社の「ワードスミス」という AI を使って記事を配信している。

² NTT2019 年 11 月 18 日報道発表資料による。

³ 言語文化教育学について詳しくは縫部 (2001) を参照されたい。

特に 2015 年度から PISA はコンピュータ使用型に移行し、WEB サイト、投稿文、電子メールなどのデジタルテキストを読みながら回答するようになったので、日本語学習者になる可能性のある受験生のコンピュータリテラシーが関わるようになってくると思われる。

(表 1) PISA から見る台湾学習者の学力 (2006~2018 年)

	PISA 2006	PISA 2009	PISA 2012	PISA 2015	PISA 2018
閱讀	1. 韓国 (556) 2. 芬蘭 (547) 3. 香港 (536) 4. 加拿大 (527) 5. 紐西蘭 (521) 6. 愛爾蘭 (517) 7. 澳大利亞 (513) 8. 列支敦士登 (510) 9. 波蘭 (508) 9. 瑞典 (507) 16. 台灣 (496)	1. 上海 (556) 2. 韓国 (539) 3. 芬蘭 (536) 4. 香港 (533) 5. 新加坡 (526) 6. 加拿大 (524) 7. 紐西蘭 (521) 8. 日本 (520) 9. 澳洲 (515) 10. 荷蘭 (508) 23. 臺灣 (495)	1. 上海 (570) 2. 香港 (545) 3. 新加坡 (542) 4. 日本 (538) 5. 韓国 (536) 6. 芬蘭 (524) 7. 愛爾蘭 (523) 8. 臺灣 (523) 9. 加拿大 (523) 10. 波蘭 (518)	1. 新加坡 (535) 2. 香港 (527) 3. 加拿大 (527) 4. 芬蘭 (526) 5. 愛爾蘭 (521) 6. 愛沙尼亞 (519) 7. 韓国 (517) 8. 日本 (516) 9. 挪威 (513) 10. 紐西蘭 (509) 23. 臺灣 (497)	1. 中國四地(B-S-J-Z) (555) 2. 新加坡 (549) 3. 澳門 (525) 4. 香港 (524) 5. 愛沙尼亞(523) 6. 加拿大 (520) 7. 芬蘭 (520) 8. 愛爾蘭 (518) 9. 韓国 (514) 10. 波蘭 (512) 17. 臺灣 (503)
數學	1. 台灣 (549) 2. 芬蘭 (548) 3. 香港 (547) 3. 韓国 (547) 5. 荷蘭 (531) 6. 瑞士 (530) 7. 加拿大 (527) 8. 澳門 (525) 8. 列支敦士登 (525) 10 日本 (523)	1. 上海 (600) 2. 新加坡 (562) 3. 香港 (555) 3. 韓国 (546) 5. 臺灣 (543) 6. 芬蘭 (541) 7. 列支敦士登 (536) 8. 瑞士 (534) 9. 日本 (529) 10. 加拿大 (527)	1. 上海 (613) 2. 新加坡 (573) 3. 香港 (561) 4. 臺灣 (560) 5. 韓国 (554) 6. 澳門 (538) 7. 日本 (536) 8. 列支敦士登 (535) 9. 瑞士 (531) 10. 荷蘭 (523)	1. 新加坡 (564) 2. 香港 (548) 3. 澳門 (544) 4. 臺灣 (542) 5. 日本 (532) 6. 中國四地(B-S-J-G)(531) 7. 韓国 (524) 8. 瑞士 (521) 9. 愛沙尼亞 (520) 10. 加拿大 (516)	1. 中國四地(B-S-J-Z) (591) 2. 新加坡 (569) 3. 澳門 (558) 4. 香港 (551) 5. 臺灣 (531) 6. 日本 (527) 7. 韓国 (526) 8. 愛沙尼亞 (523) 9. 荷蘭 (519) 10. 波蘭 (516)
科學	1. 芬蘭 (563) 2. 香港 (542) 3. 加拿大 (534) 4. 台灣 (532) 5. 愛沙尼亞 (531) 5. 日本 (531) 7. 紐西蘭 (530) 8. 澳大利亞 (527) 9. 荷蘭 (525) 10. 列支敦士登/韓國 (522)	1. 上海 (575) 2. 芬蘭 (554) 3. 香港 (549) 4. 新加坡 (542) 5. 日本 (539) 5. 韓国 (538) 7. 紐西蘭 (532) 8. 加拿大 (529) 9. 愛沙尼亞 (528) 10. 澳洲 (527) 12. 臺灣 (520)	1. 上海 (580) 2. 香港 (555) 3. 新加坡 (551) 4. 日本 (547) 5. 芬蘭 (545) 6. 愛沙尼亞 (541) 7. 韓国 (538) 8. 越南 (528) 9. 波蘭 (526) 10. 列支敦士登 (525) 13. 臺灣 (523)	1. 新加坡 (556) 2. 日本 (538) 3. 愛沙尼亞 (534) 4. 臺灣 (532) 5. 芬蘭 (531) 6. 澳門 (529) 7. 加拿大 (527) 8. 越南 (525) 9. 香港 (523) 10. 中國四地(B-S-J-G) (518)	1. 中國四地(B-S-J-Z) (590) 2. 新加坡 (551) 3. 澳門 (544) 4. 愛沙尼亞 (530) 5. 日本 (529) 6. 芬蘭 (522) 7. 韓国 (519) 8. 加拿大 (518) 9. 香港 (517) 10. 臺灣 (516)

(台灣PISA國家研究中心による。中国は2015年には北京、上海、蘇州、廣東、2018年には北京、上海、蘇州、浙江が参加した。)

日本語教育現場で AI を応用しようと思ったら、教師の日本語学知識、日本語教育学素養及びコンピュータリテラシーが求められる。本論文ではまず、AI テキストマイニング、スマートスピーカー、グーグル翻訳の観点から日本語教育における AI 利用を考察した後、JSL 教育と JFL 教育の異同点を論じ、台湾の日本語教師に求められる資質と役割に関する私見を述べたい。

2. 日本語教育における AI 利用

AI についての話題が盛んになって以来、人間の仕事が AI に取って代わられるのではないかと危惧する人が多くなってきた。機械学習や人工知能に関する技術が発展すればするほど、人間の雇用や生計に悪い影響が出てくると思われる。教育においては、落合(2019)で述べられたように、第三期 AI 技術の発展によって教育内容、方法、技能の各方面で新しい対応が迫られている。語学に限って考える場合、まず、機械が人間よりよくできることと機械ができないことを考察する必要があるように思われる。ここでは、AI テキストマイニング、グーグル翻訳、スマートスピーカーを取り上げて見てみたい。

2.1 AI テキストマイニング

AI テキストマイニングの技法を用いると、AI による自然言語処理と人文科学的な質的方法とを組み合わせる方法が探求される。AI テキストマイニングソフトによって瞬時にある文章の使用語彙、重要語彙、感情表現が可視化の表や図形でキャッチできる。ここでは形態素解析と感情表現の可視化について述べてみたい。

2.1.1 形態素解析

司馬遼太郎「二十一世紀に生きる君たちへ」を対象にした頼(2020a)、村上春樹「讃岐・超ディープうどん紀行」(以下「讃岐」とも)と「神戸まで歩く」(以下「神戸」とも)を対象にした頼(2020b)で述べられたように、AI テキストマイニングを利用した読解活動は時間的、手続き的なメリットが感じられた。

(表 2) 「讃岐」「神戸」における使用語彙の語数と品詞

		名詞	動詞	形容動詞	形容詞	連体詞	接続詞	副詞	感動詞	助動詞	助詞	接頭辞	接尾辞	合計
讃岐	異り語数	599	159	30	42	10	7	94	5	21	55	9	46	1077
	延べ語数	1430	865	38	121	44	23	201	7	499	1854	26	160	5268
神戸	異り語数	807	276	46	45	13	6	86	7	17	42	10	55	1410
	延べ語数	1824	950	82	132	85	32	212	9	693	2152	20	156	6347

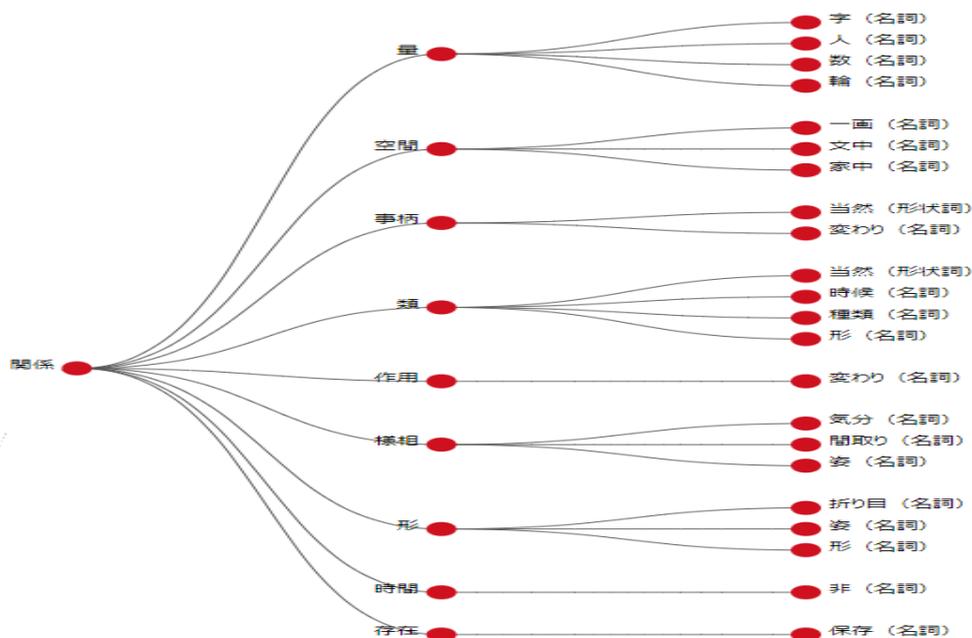
(頼(2020b)による)

- (2) 表記では漢字は 569、平仮名は 1003、片仮名は 40 ある。
- (3) 日本語教育における難易度は中級前半である。
- (4) 語種から見れば、和語は 892 語、漢語は 138 語、混種語は 8 語、
外来語は 7 語ある。
- (5) 品詞別から見ると、自立語では名詞が一番多く、動詞はそれに
次いでいる。
- (6) jReadability の場合では、テキストに含まれる名詞、動詞、形
容詞、形容動詞の意味分類を『分類語彙表』に準拠した階層図
が提供される。
- (7) UserLocal AI テキストマイニングで見た場合、ワードクラウド
で字が大きいのは「晴れがましい、瘠せる、葉書」である。

(表 4) 品詞別から見る「字のない葉書」

	品詞	代名詞	名詞	動詞	形容詞	形容動詞	連体詞
語 数	異なり	9	200	86	20	9	4
	延べ	17	312	159	26	9	9
	品詞	副詞	感動詞	助動詞	助詞	接辞	
語 数	異なり	13	1	12	31	18	
	延べ	16	1	131	356	25	

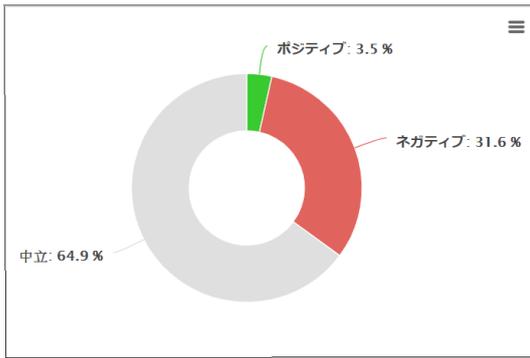
(日本語文章難易度判別システムによる。但し、一部修正。)⁴



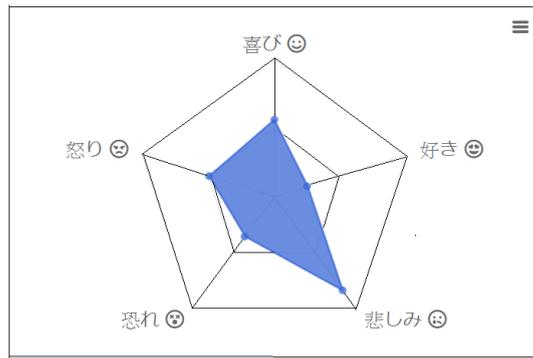
(図 6) 「字のない葉書」における一部の語彙の意味分類 (jReadability による)

⁴ 「変わりよう」の「よう」を名詞に、「殿」を接辞に、「泣いたそうなの
「そう」を助動詞に修正した。

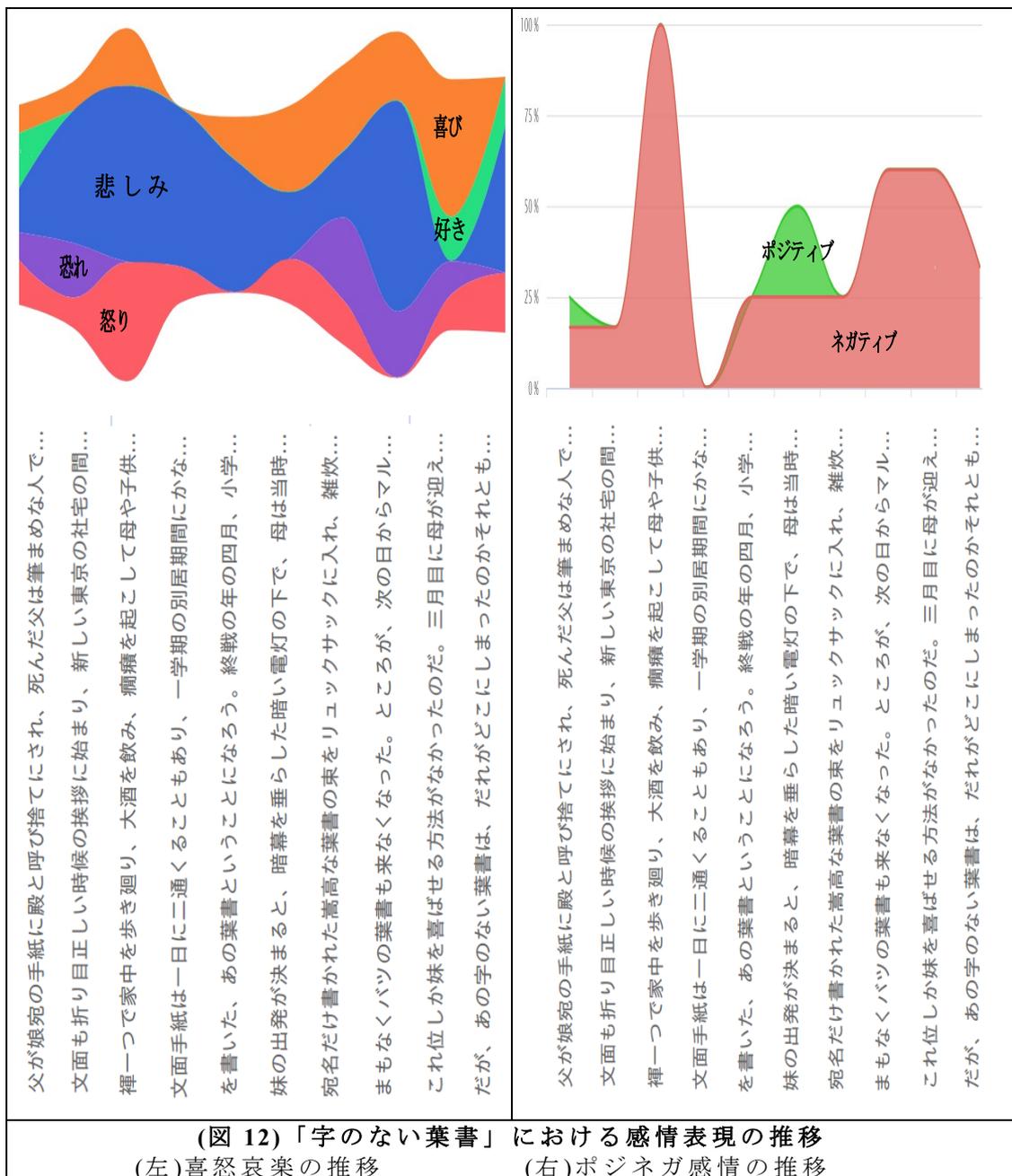
ポジネガ



感情

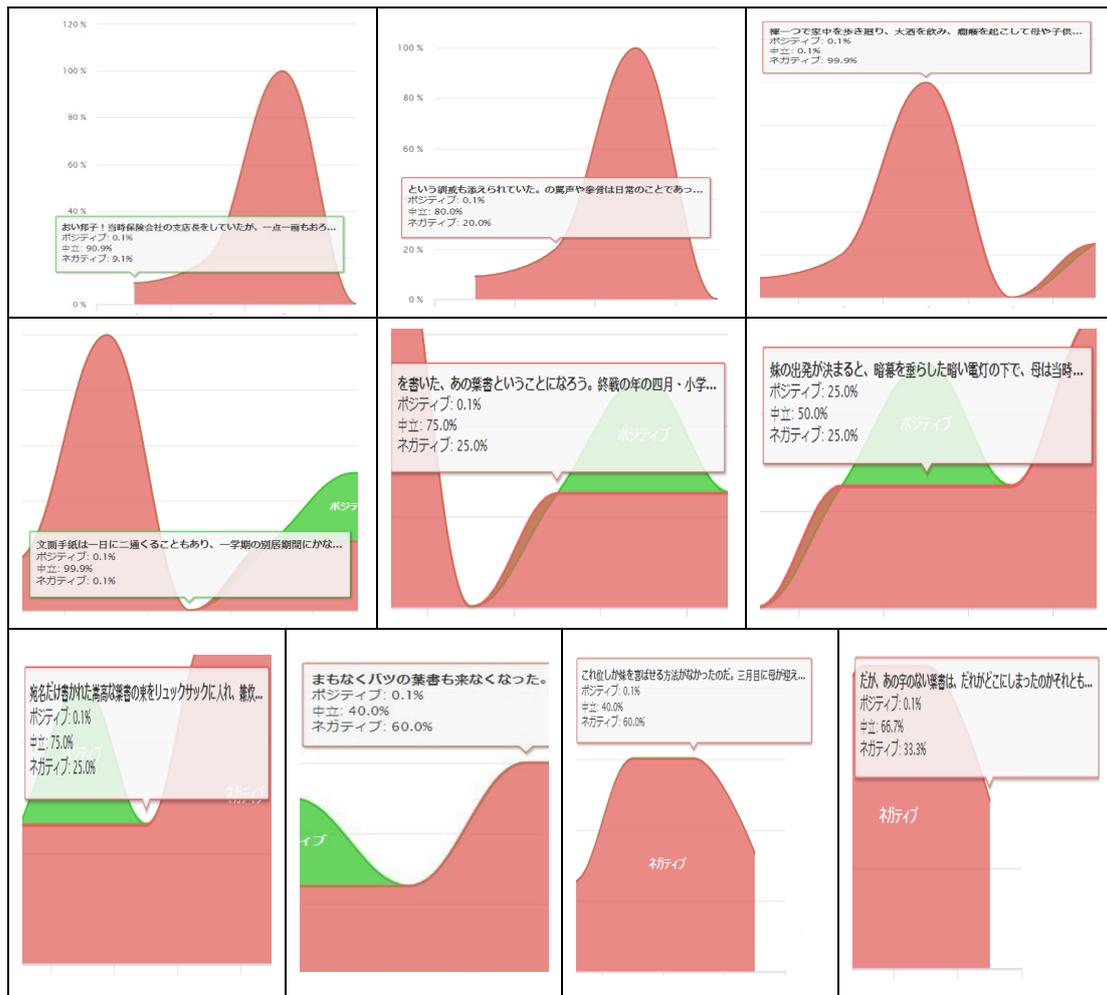


(図 11)「字のない葉書」における感情表現



(図 12)「字のない葉書」における感情表現の推移
 (左)喜怒哀楽の推移 (右)ポジネガ感情の推移

ポジネガ表現の詳細は下記のようになる。「字のない葉書」を十部分に分けてみると、最初の部分は作者のお父さんの性格を述べるもので、中立的表現が多いが、「馬鹿野郎」、「罵声と拳骨」などのネガティブな感情の表現もある。第二部分はお父さんから作者への訓戒入りの手紙の内容の紹介である。中立的である中、娘の学力への批判もあるので、ネガティブな表現が20%と判定された。第三部分はお父さんの癩癩を起こして母や子供たちに手を挙げる姿、暴君であることなどの描写なので、ネガティブな表現である。第四部分の内容は手紙は一日に二通くることもあり、一学期の別居期間にかなりの数になったことで、中立的なものである。第五部分は父が宛名を書き、妹が「文面」を書いた、あの葉書が懐かしいこと、終戦の時の学童疎開のことが描かれている内容で、中立的意味が強い。第六部分は妹の疎開のこと、お父さんが葉書を用意すること、妹に字が書けないことが書かれているが、50%は中立的で、ネガティブの意味とポジティブの意味がそれぞれが25%と表示されている。第七部分は宛名だけ書かれた嵩高な葉書の束をリュックサックに入れ、雑炊用のドンブリを抱えた下の妹が遠足にでもゆくようにはしゃいで出掛けて行ったこと、最初の葉書の大マルが小さくなり、ついバツになったこと、見舞に行った上の妹の姿を見ると下の妹が急に泣いたことが書いてある。75%は中立的内容で、25%はネガティブ的内容だとされている。第八部分はまもなく妹からバツの葉書も来なくなったこと、母が迎えに行ったとき、妹が百日咳を患わって、虱だらけの頭で三畳の布団部屋に寝かされていたことなどの内容である。ネガティブ的要素は60%、中立的要素は40%である。第九部分は妹を迎えるために、掌に乗るようなカボチャのウラナリも収穫したことの描写である。中立的な感情は40%、ネガティブ感情は60%である。最後の部分は「字のない葉書」が行方不明になったことで、中立的表現が66.7%、ネガティブ的表現が33.3%である。全体的に見れば、ネガティブ的表現はポジティブ的表現より多い。それは悲しい感情が多いことと一致している。



(図 13) 「字のない葉書」におけるポジネガの感情推移

2.2 スマートスピーカー

現代、日常生活で AI 機器がよく用いられている。スマートスピーカー (Smart Speaker) はその例の一つである。スマートスピーカーとは、対話型の音声操作に対応した AI アシスタント機能を持つスピーカーである。内蔵されているマイクで音声を認識し、情報の検索や連携家電の操作を行う。日本では AI スピーカーとも呼ばれる。インターネットに常時つながっている AI 搭載のスピーカーは一定の音声を認識するほか、指示や質問に応じてネット操作などを代行できる。できる機能がスマートフォンのアプリのような形で開発されている。スマートスピーカーを利用した日本語教育における指導例も見られる。甲斐・他 (2019) では Amazon が提供するクラウドベースの音声認識サービスの Amazon Alexa を利用して開発した受

身形転換練習のための機能（Alexa Skill と呼ばれる）が紹介されている。ユーザーがスマートスピーカーに向かって「アレクサ、受身の練習を開いて」と発すると練習が開始される。ランダムに選ばれた動詞についてスピーカーから発せられる動詞辞書形を聞き取り、受身形を答える練習である。たとえば「食べる」と言われた場合にユーザーが「食べられる」と発すると「正解です」と返し、「食べられる」と発すると「違います」と返す。結果は1問ごとにフィードバックされ、終了後に全問中の正解数が知らされる。台湾ではスマートスピーカーを利用した日本語発音練習の指導例が見られるが、発話練習のための利用法も考えられているという⁵。

但し、エンジニアのスマートスピーカー利用者から次のような声が聞かれる。池谷（2020）によれば、日常生活でスマートスピーカーを使っていると、問いかけると臨機応変に返答するロボットに一目惚れしたが、但し、「現状では理解力も柔軟性も乏しく、とんでもなくトンチンカンな返答に困惑することもしばしば」あるので、結局、ニュースや天気予報や音楽を聞いたり、家電製品を音声操作したりと、使用範囲は限られている、というような困った事例が見られる。

2.3 グーグル翻訳

米グーグルは2019年12月12日にスマートフォンで会話をほかの言語に自動的に翻訳できる新機能を世界で始めた。同社が強みを持つ人工知能（AI）技術を使って44の言語に対応し無料で使える⁶。書き言葉では、2020年8月現在、Googleテキスト翻訳は108言語に対応して起点言語を瞬時に目標言語に訳してくれるし、カメラを向けるだけでメニューや案内板などをリアルタイムに翻訳してくれるインスタントカメラ機能もある⁷。

⁵ 陳（2019）を参照されたい。

⁶ 尾形（2019）を参照。

⁷ 携帯ではGoogleインターネットに接続しなくても59言語に対応する翻訳が可能。カメラを向けるだけで画像内のテキストを瞬時に90言語に対応して翻訳してくれる。詳しくは佐藤（2020）、AppStore「Google翻訳」

（<https://apps.apple.com/jp/app/google-%E7%BF%BB%E8%A8%B3/id414706506>）

翻訳器ポケットもメリットのある例の一つである。その翻訳機があるので、買い物や道を尋ねる際に役立つだけでなく、現地の人との距離感が縮まって、より楽しみやすくなった、という楽しい台湾旅行の事例が見られる⁸。しかし、旅行者にとってとても便利な道具だといわれる Google 翻訳機器を語学教育のために使おうとすると、問題が出てくる。台湾の日本語教育では日中翻訳も中日翻訳も重要な指導項目で多くの教育機関で設けられている科目であるが、学生は宿題のためによく翻訳機械を使っているという。但し、以下で見るように時々、トンチンカンな翻訳が出されることもある。

1981年8月22日、取材旅行中の台湾苗栗県三義郷で遠東航空機墜落事故で帰らぬ人になった向田邦子が生活のなかのちょっとしたものや事柄を楽し気に述べてくれるエッセイは多くの人に親しまれている。台湾でも「父の詫び状」(《爸爸的道歉信》)をはじめ、『男どき女どき』(《男時女時》)、『あ・うん』(《阿吽》)などが中国語に訳され、読まれている。「字のない葉書」は1976年に『家庭画報』7月号に掲載されたエッセイであるが、光村図書出版平成18年版の中学校『国語2』、東京書籍の平成18年度から21年度採用の教科書(中学校3年生)の資料編に載っている。せっかくの名エッセイが次のように変な中国語に訳されたので、読者の一人として本当に残念でならない(2020年5月4日のGoogle翻訳(例1~13)、及び2020年5月15日のGoogle翻訳(表5)を参照されたい⁹)。日本語教育における翻訳指導では今のところ、翻訳ソフトに頼ってはならないものである。

- (1) 「向田邦子」が「木井邦子」になった。
- (2) 「字のない葉書」は「無字的明信片」のはずであるが、「無字母的明信片」になった。
- (3) 「親元を離れた」は「離開父母的執照」ではなく、「離開父母」

を参照されたい。

⁸ ポケット「ユーザーインタビュー②」による。

⁹ 初出は1976年『家庭画報』7月号であるが、底本は向田邦子(2009)『向田邦子全集 新版⑥エッセイ二 眠る盃』文藝春秋(pp.43-46)である。

である。

- (4)「三日にあげず手紙をよこした。」(不到三天就寄信來了)は「我寄了一封信，但三天内卻沒有給他。」になっている。
- (5) 葉書の「表書き」は「桌子」に訳された。
- (6)「折り目正しい時候の挨拶」(中規中矩的季節問候語)は「以正確的折疊時間打招呼」となっている。
- (7)「貴女の学力では難しい漢字もあるが、勉強になるからまめに字引を引くように。」は「有些漢字對你的學術能力來說是困難的，但是既然你正在學習，一定要寫一封信。」に訳された。
- (8)「暴君ではあったが、反面テレ性でもあった父」はソフトの誤認識で「它是儘管他是暴君，但他的父親也打電話」とされた。
- (9)「この手紙のあと、かれこれ三十年付き合ったことになる」における「付き合う」は「約會」になった。
- (10)「終戦の年の四月、小学校一年の末の妹が甲府に学童疎開をすることになった。」はどういうわけか、「戦争結束的四月，我小學一年級結束時的姐姐決定將學童疏散到甲府。」と訳されている。
- (11)「下の妹はあまりに幼く不憫だというので、両親が手離さなかったのである。」は「但姐姐太年輕，不開心，所以她的父母沒有放手。」ではなく、「由於小妹太小太可憐，因此雙親不忍離手。」に修正したほうがいように思われる。
- (12)「家こそ焼け残ったものの命からがらの目に逢い、このまま一家全滅するよりは、と心を決めたらしい。」の「看到受害者的生活後，他決定自己應該決定摧毀整個家庭。」より、「房子沒被燒掉但險些喪命，父親似乎因此決定，疏散總比全家毀滅好。」が相応しい。
- (13)「妹の出発が決まると、暗幕を垂らした暗い電灯の下で、母は当時貴重品になっていたキャラコで肌着を縫って名札を付け、父はおびただしい葉書に几帳面な筆で自分宛の宛名を書いた。」に当たる「決定姐姐離開後，當時母親在黑暗的電燈下，用遮光

的窗簾縫製了內褲，上面貼有珍貴的木炭，並貼上了名字標籤，父親用 addressed 草筆給自己寄了很多明信片。」を「一旦決定妹妹要離開，媽媽就在掛著燈罩的昏暗電燈下，用當時貴重的白棉布縫製內衣，加上名牌；父親則在眾多的明信片收件人處整齊地寫上自己的名字。」に修正したい。

(表 5) Google 翻訳による「字のない葉書」の中国語訳

原文	Google 翻訳 (2020.05.15)	筆者修正案
字のないはがき	沒有字母的明信片	沒有字母的明信片
向田邦子	牧田邦子	向田邦子
死んだ父は筆まめな人であった。	死去的父親是個直率的人。	我父親是個勤於寫信的人。
私が女学校一年で初めて親許を離れたときも、三日にあげず手紙をよこした。	當我在一所女子學校的第一年第一次離開父母的執照時，我寄了一封信，但三天內卻沒有給他。	我上中學女校一年級第一次離開父母時，不到三天父親就寄信給我。
当時保険会社の支店長をしていたが、一点一画もおろそかにしない大ぶりの筆で、「向田邦子殿」と書かれた表書きを初めて見たときは、ひどくびっくりした。	當時，我是一家保險公司的分公司經理，但用大筆刷不會忽略每個筆劃，“M 田國子”當我第一次看到桌子寫著的時候，我感到非常驚訝。	當時我父親是保險公司的分社社長。我第一次看到他用一筆一畫毫不含糊的粗曠筆調寫著「向田邦子殿」的信封時，真是嚇了一大跳。
父が娘宛の手紙に「殿」を使うのは当然なのだが、つい四、五日前まで、「おい邦子！」と呼び捨てにされ、「馬鹿野郎！」の罵声や拳骨は日常のことであったから、突然の変わりように、こそばゆいような晴れがましいような気分になったのであろう。	我父親很自然地在女兒的信中使用“tono”一詞，但直到四，五天之前，“大井邦子！”“Bakaro!”的聲音和拳頭很粗魯，這是日常的事情，所以突然之間感覺就像是燦爛的晴天。	父親寫給女兒的信用「殿」乃是理所當然的。可是，就在四五天前，被叫「喂！邦子！」，「笨蛋」罵聲與拳頭乃為日課，因此，這突然的變化，令人既害羞又高興吧！
文面も折り目正しい時候の挨拶に始まり、新しい東京の社宅の間取りから、庭の植木の種類まで書いてあった。	文字還以正確的摺痕，東京新公司房屋的平面圖以及花園樹木的類型打招呼。	文面以中規中矩的季節問候語為開端，內容從東京公司新宿舍的隔間到院子裡所種植的樹木的種類都有。
文中、私を貴女と呼び、「貴女の学力では難しい漢字もあるが、勉強になるからために字引を引くように。」という訓戒も添えられていた。	在文字中，我稱你 “有些漢字對你的學術能力來說是困難的，但是由於你正在學習，所以應該經常寫信。訓戒也附在後面。	文中稱我為「妳」，還附了訓誡說：「以妳的學力來看有些漢字較難，為了學習妳要勤查字典。」
禪一つで家中を歩き廻り、大酒を飲み、癩癩を起こして母や子供たちに手を上げ	沒有一個父親會像一個單人扶手椅那樣在屋子裡走來走去，喝很多酒，發脾氣，	只纏著一條腰布在家中走來走去，喝很多酒，一生氣就對妻子和孩子動

る父の姿はどこにもなく、威厳と愛情に溢れた非の打ちどころのない父親がそこにあった。	向母親和孩子舉起手來，沒有一個無可挑剔的父親充滿了威嚴和愛心。	手的父親姿態蕩然無存，一副充滿威嚴與慈愛，無可挑剔的父親形象。
暴君ではあったが、反面テレ性でもあった父は、他人行儀という形でしか十三歳の娘に手紙が書けなかったのであろう。	它是儘管他是暴君，但他的父親也打電話，只能以陌生人的方式給他 13 歲的女兒寫信。	父親是暴君，但其反面是個性害羞。寫給十三歲女兒的信，只能以對外人的方式表達出來。
もしかしたら、日ごろ気恥ずかしくて演じられない父親を、手紙の中でやってみたのかもしれない。	也許他在信中嘗試過一個父親，他很尷尬以至於無法行動。	或許他想在信中表達出平時不好意思展現出來的父親形象。
手紙は一日に二通くこともあり、一学期の別居期間にかなりの数になった。	letters 由於有時每天兩次發送信件，因此在一個學期的不同期間，信件的數量變得很大。	有時候一天收到兩封信。在分居的一個學期裡收到了相當數量的信。
私は輪ゴムで束ね、しばらく保存していたのだが、いつとはなしにどこかへ行ってしまった。	我用橡皮筋捆紮了一段時間，然後放了一段時間。	我用橡皮圈圈起來，保存了一段時間。但是，不知不覺間就不見了。
父は六十四歳でなくなったから、この手紙のあと、かれこれ三十年付き合ったことになるが、優しい父の姿を見せたのは、この手紙の中だけである。	我父親去世了，享年 64 歲，所以在這封信之後我應該約會三十年了，但只有在這封信中，他才表明了他的好父親。	父親 64 歲那一年往生了，所以在那信之後，我和父親相處了 30 年。不過父親溫柔的姿態，只有在那些信裡面。
この手紙も懐かしいが、最も心に残るものと言われれば、父が宛名を書き、妹が「文面」を書いた、あの葉書ということになる。	儘管這封信是懷舊的，但如果說它是最令人難忘的，那將是我父親寫信的地址和姐姐寫信的“明信片”	這些信固然叫人懷念。不過，最令人無法忘懷的，是父親書寫收件人，妹妹寫文面的那些明信片吧！
終戦の年の四月、小学校一年の末の妹が甲府に学童疎開をすることになった。	戰爭結束的四月，我小學一年級結束時的姐姐決定將學童疏散到甲府。	終戰那一年的四月，小學一年級的小妹因學童疏散而要去甲府。
すでに前の年の秋、同じ小学校に通っていた上の妹は疎開をしていたが、下の妹はあまりに幼く不憫だというので、両親が手離さなかったのである。	姐姐在去年的秋天已經上過同一所小學，但已經撒離了，但姐姐太年輕，不開心，所以她的父母沒有放手。	在前一年的秋天，上同一小學的大妹已經去學童疏散了，由於小妹太小太可憐，因此雙親不忍離手。
ところが三月十日の東京大空襲で、家こそ焼け残ったものの命からがらの目に逢い、このまま一家全滅するよりは、と心を決めたらしい。	然而，在 3 月 10 日對東京進行的空襲中，房屋沒有被燒毀，但在看到受害者的生活後，他決定自己應該決定摧毀整個家庭。	但是 3 月 10 日的東京大空襲，房子沒被燒掉但險些喪命，父親似乎因此決定，疏散總比全家毀滅好。
妹の出発が決まると、暗幕を垂らした暗い電灯の下で、母は当時貴重品になっていたキャラコで肌着を縫って名札を付け、父はおび	決定姐姐離開後，當時母親在黑暗的電燈下，用遮光的窗簾縫製了內褲，上面貼有珍貴的木炭，並貼上了名字標籤，父親用	一旦決定妹妹要離開，媽媽就在掛著燈罩的昏暗電燈下，用當時貴重的白棉布縫製內衣，加上名牌；父親則在眾多

ただしい葉書に几帳面な筆で自分宛の宛名を書いた。	addressed 草筆給自己寄了很多明信片。	的明信片收件人處整齊地寫上自己的名字。
「元気な日はマルを書いて、毎日一枚ずつポストに入れなさい。」と言ってきかせた。	寫道。“在晴朗的日子裡，寫 Maru 並每天發表一篇。”我告訴他了。	父親對妹妹說：「有精神的日子，就畫上圈圈，每天投一張到郵桶裡。」
妹は、まだ字が書けなかった。	我妹妹還不能寫。	妹妹還不會寫字。
宛名だけ書かれた嵩高な葉書の束をリュックサックに入れ、雑炊用のドンブリを抱えて、妹は遠足にでもゆくようにはしゃいで出掛けて行った。	我們把一堆只寫在地址上的笨重的明信片放在一個帆布背包裡，拿著一頓飯煮粥，然後我姐姐出去郊遊了。	妹妹把寫著收件人的厚厚一疊明信片放到背包裡，抱著裝雜燴粥的碗，好像要去遠足似地開心地出門了。
一週間ほどで、初めての葉書が着いた。	大約一周後，我的第一張明信片到了。	大約過了一星期，第一張明信片寄到了。
紙いっぱいはいみ出すほどの、威勢のいい赤鉛筆の大マルである。	這是一支充滿活力的紅色鉛筆，上面伸出很多紙。	用紅鉛筆畫了一個好像要超出明信片紙張的氣派很大的圓圈圈。
付き添っていった人のはなしでは、地元婦人会が赤飯やぼた餅を振舞って歓迎して下さったとかで、南瓜の茎まで食べていた東京に比べれば大マルにちがいがなかった。	當地婦女協會在沒有陪同人員的情況下用紅米飯和魷魚年糕來歡迎她們，與東京相比，肯定是奧丸，後者甚至吃了南瓜的莖。	隨行的人說，當地的婦人會會以紅豆飯和豆沙餡糯米餅熱情歡迎，和連南瓜莖都吃的東京相比之下，一定是個大圓圈了。
ところが、次の日からマルは急激に小さくなっていった。	但是，第二天丸丸突然變小了。	但是，第二天開始，圓圈突然越來越小。
情けない黒鉛筆の小マルは、ついにバツに変わった。	小黑鉛筆小丸終於變成了十字架。	可憐的灰鉛筆小圓圈終於變成了叉叉。
その頃、少し離れた所に疎開していた上の妹が、下の妹に会いに行った。	當時，我的姐姐已經疏散了一下，去看她的妹妹。	那時，疏散在稍遠地方的大妹，去見小妹。
下の妹は、校舎の壁に寄りかかって梅干しのたねをしゃぶっていたが、姉の姿を見ると、種をぺっと吐き出して泣いたそう。	妹妹靠在學校大樓的牆上，吮著梅梅的種子，但是當她看到妹妹時，她吐了種子哭了。	聽說小妹本來是靠著校舍牆著吮話梅的種子，一看到姊姊，就一口吐掉種子哭了。
まもなくバツの葉書も来なくなった。	不久之後，徐寄來的明信片就停止了。	不久，畫叉叉的明信片也沒來了。
三月目に母が迎えに行ったとき、百日咳を患っていた妹は、虱だらけの頭で三畳の布団部屋に寝かされていたという。	據說，當我的母親在三月份接我時，我的妹妹咳嗽得非常厲害，據說她躺在一個榻榻米墊子的蒲團房間裡，頭上滿是蟲子。	第三個月媽媽去接小妹的時候，聽說她得了百日咳，滿頭頭蝨，躺在三個榻榻米大的棉被間。
妹が帰ってくる日、私と弟は家庭菜園の南瓜を全部収穫した。	姐姐回來的那天，我和哥哥從菜園裡收割了所有南瓜。	妹妹回家那一天，我和弟弟把家庭菜園的南瓜都收割了。

小さいのに手をつけると叱る父も、この日は何も言わなかった。	我父親正在為他的小手責罵，這一天什麼也沒說。	平時太小就收割的話會被父親罵。可是那一天父親什麼話都沒說。
私と弟は、一抱えもある大物から掌にのるウラナリまで、二十数個の南瓜を一行に客間にならべた。	我和弟弟從大個到手掌上的 Uranari 排成一行，排列了二十個或更多南瓜。	我和弟弟把二十幾個南瓜從得雙手抱的大南瓜到可放在手掌上的小南瓜在客廳排成一排。
これ位しか妹を喜ばせる方法がなかったのだ。	沒有其他辦法可以取悅我的妹妹了。	只有這樣才能讓妹妹高興。
夜遅く、出窓で見張っていた弟が、「帰ってきたよ！」と叫んだ。	深夜，我的弟弟在凸窗上看著，“我回來！”大叫。	深夜，在凸窗守候的弟弟大叫：「回來了！」
茶の間に座っていた父は、裸足でおもてへ飛び出した。	我父親坐在茶葉之間，赤腳跳到前面。	坐在茶室的爸爸赤腳跑到前門。
防火用水桶の前で、瘠せた妹の肩を抱き、声を上げて泣いた。	在消防缸前，他握住了飄動的姐姐的肩膀，大聲喊著。	在消防的水桶前，抱著妹妹瘦弱的肩膀，嚎啕大哭。
私は父が、大人の男が声を立てて泣くのを初めて見た。	我父親第一次看到一個成年男子大聲喊叫。	我第一次看到父親，看到大男人放聲大哭。
あれから三十一年。	從那時起 31 年。	三十一年過去了。
父は亡くなり、妹も当時の父に近い年になった。	父親去世了，姐姐當時與父親親近。	父親往生了，妹妹也到了父親當時的年齡。
だが、あの字のない葉書は、だれがどこにしまったのかそれとも失くなったのか、私は一度も見えていない。	但是，從未寫過明信片的人，位置或丟失之處從未見過。	可是，那些沒有文字的明信片，不知是誰收到哪兒去了？或是丟掉了？我再也沒見過。

どういうメカリズムなのか分からないが、以下のように同じ Google 翻訳で同じテキストなのに、時間によって違った中国語訳が考察された。これで分かるように、機械翻訳は確かに利用できるツールであるが、今のところ、まだ人力によるチェックが必要である。

(14)「禪一つで家中を歩き廻り、大酒を飲み、癩癩を起こして母や子供たちに手を上げる父の姿はどこにもなく、威厳と愛情に溢れた非の打ちどころのない父親がそこにあった。」の前半は「沒有一個父親會用一隻手在屋子裡走來走去」と「沒有一個父親會像一個單人扶手椅那樣在屋子裡走來走去」の二通りになっている。

(15)「私は輪ゴムで束ね、しばらく保存していたのだが、いつとはなしにどこかへ行ってしまった。」は「我用橡皮筋捆起來，並保留了一段時間，但不知何故我離開了。」、「我用橡皮筋捆紮了一

段時間，然後放了一段時間。」と訳されている。

(16)「この手紙も懐かしいが、最も心に残るものと言われれば、父が宛名を書き、妹が「文面」を書いた、あの葉書ということになろう。」の後半は「那將是父親在其中寫地址，姐姐在其中寫“文字”的明信片。」と「那將是我父親寫信的地址和姐姐寫信的“明信片”。」と翻訳された。

(17)「家こそ焼け残ったものの命からがらの目に逢い、このまま一家全滅するよりは、と心を決めたい。」は「房屋沒有被燒毀，但在看到受害者的生命後，他決定不破壞整個家庭。」と「房屋沒有被燒毀，但在看到受害者的生活後，他決定自己應該決定摧毀整個家庭。」という正反対の訳文になっている。

(18)「紙いっぱいみ出すほどの、威勢のいい赤鉛筆の大マルである。」は「這是一個充滿活力的紅色鉛筆大圓圈，可以填充紙張。」
「這是一支充滿活力的紅色鉛筆，上面伸出很多紙。」になった。

(19)「次の日からマルは急激に小さくなっていった。」は「丸子突然從第二天開始變小。」と「第二天丸丸突然變小了。」のようになっている。

(表 6) Google 翻訳による「字のない葉書」の中国語訳の多様化

原文	GOOGLE 翻訳 2020.05.04	GOOGLE 翻訳 2020.05.15
<p>字のない葉書</p> <p>向田 邦子</p> <p>死んだ父は筆まめな人であった。 私が女学校一年で初めて親許を離れたときも、三日にあげず手紙をよこした。当時保険会社の支店長をしていたが、一点一画もおろそかにしない大ぶりの筆で、「向田邦子殿」と書かれた表書きを初めて見たときは、ひどくびっくりした。父が娘宛の手紙に「殿」を使うのは当然なのだが、つい四、五日前まで、「おい邦子！」と呼び捨てにさ</p>	<p>沒有字母的明信片</p> <p>木井 邦子</p> <p>死去的父親是個直率的人。 當我在一所女子學校的第一年第一次離開父母的許可證時，我寄了一封信，但三天內卻沒有給他。當時，我是一家保險公司的分公司經理，但用大刷子卻不會忽略每個行程 “M田國子” 當我第一次看到桌子寫著的時候，我感到非常驚訝。對我父親來說，在女兒的信中使用“tono”一詞是很自然的，但是直到四，五</p>	<p>沒有字母的明信片</p> <p>牧田 邦子</p> <p>死去的父親是個直率的人。 當我在一所女子學校的第一年第一次離開父母的執照時，我寄了一封信，但三天內卻沒有給他。當時，我是一家保險公司的分公司經理，但用大筆刷不會忽略每個筆劃，“M田國子” 當我第一次看到桌子寫著的時候，我感到非常驚訝。我父親很自然地在女兒的信中使用“tono”一詞，但直到四，五天之前，“大井</p>

れ、「馬鹿野郎！」の罵声や拳骨は日常のことであったから、突然の変わりように、こそばゆいような晴れがましいような気分になったのであろう。

文面も折目正しい時候の挨拶に始まり、新しい東京の社宅の間取りから、庭の植木の種類まで書いてあった。文中、私を貴女と呼び、「貴女の学力では難しい漢字もあるが、勉強になるからまめに字引を引くように。」という訓戒も添えられていた。

禪一つで家中を歩き廻り、大酒を飲み、癩癩を起こして母や子供たちに手を上げる父の姿はどこにもなく、威厳と愛情に溢れた非の打ちどころのない父親がそこにあった。

暴君ではあったが、反面テレ性でもあった父は、他人行儀という形でしか十三歳の娘に手紙が書けなかったのであろう。もしかしたら、日ごろ気恥ずかしくて演じられない父親を、手紙の中でやってみたのかもしれない。

手紙は一日に二通くることもあり、一学期の別居期間にかなりの数になった。私は輪ゴムで束ね、しばらく保存していたのだが、いつとはなしにどこかへ行ってしまった。父は六十四歳でなくなったから、この手紙のあと、かれこれ三十年付き合ったことになるが、優しい父の姿を見せたのは、この手紙の中だけである。

この手紙も懐かしいが、最も心に残るものと言われれば、父が宛名を書き、妹が「文面」を書いた、あの葉書ということになる。

終戦の年の四月、小学校

天之前，“大井邦子！”“Bakaro！”の聲音和拳頭很粗魯，這是每天的事，所以看起來像是突然的變化，感覺就像是燦爛的晴天。

文字還以正確的折疊時間打招呼，東京新公司房屋的平面圖以及花園中的植物種類開始。在文字中，我叫你“有些漢字對你的學術能力來說是困難的，但是既然你正在學習，一定要寫一封信。”訓誡也附在後面。

沒有一個父親會用一隻手在屋子裡走來走去，喝很多酒，發脾氣，向母親和孩子們舉起手來，沒有一個無可挑剔的父親充滿了威嚴和愛心。

那是儘管是暴君，但他的父親也打電話，只能以陌生人的方式給他13歲的女兒寫信。也許我試圖寫一個尷尬而無法行動的父親。

letters 由於有時每天兩次發送信件，因此在一個學期的不同期間，信件的數量變得很大。我用橡皮筋捆起來，並保留了一段時間，但不知何故我離開了。我父親去世了，享年64歲，所以在這封信之後我應該約會三十年了，但只有在這封信中，他才表明了他的好父親。

儘管這封信是懷舊的，但如果說它是最令人難忘的，那將是父親在其中寫地址，姐姐在其中寫“文字”的明信片。

戰爭結束的四月，我

邦子！”“Bakaro！”的聲音和拳頭很粗魯，這是日常的事情，所以突然之間感覺就像是燦爛的晴天。

文字還以正確的摺痕，東京新公司房屋的平面圖以及花園樹木的類型打招呼。在文字中，我叫你“有些漢字對你的學術能力來說是困難的，但是由於你正在學習，所以應該經常寫信。”訓誡也附在後面。

沒有一個父親會像一個單人扶手椅那樣在屋子裡走來走去，喝很多酒，發脾氣，向母親和孩子舉起手來，沒有一個無可挑剔的父親充滿了威嚴和愛心。

它是儘管他是暴君，但他的父親也打電話，只能以陌生人的方式給他13歲的女兒寫信。也許他在信中嘗試過一個父親，他很尷尬以至於無法行動。

letters 由於有時每天兩次發送信件，因此在一個學期的不同期間，信件的數量變得很大。我用橡皮筋捆紮了一段時間，然後放了一段時間。我父親去世了，享年64歲，所以在這封信之後我應該約會三十年了，但只有在這封信中，他才表明了他的好父親。

儘管這封信是懷舊的，但如果說它是最令人難忘的，那將是我父親寫信的地址和姐姐寫信的“明信片”。

一年の末の妹が甲府に学童疎開をすることになった。すでに前の年の秋、同じ小学校に通っていた上の妹は疎開をしていたが、下の妹はあまりに幼く不憫だというので、両親が手離さなかったのである。ところが三月十日の東京大空襲で、家こそ焼け残ったものの命からがらの目に逢い、このまま一家全滅するよりは、と心を決めたらしい。

妹の出発が決まると、暗幕を垂らした暗い電灯の下で、母は当時貴重品になっていたキャラコで肌着を縫って名札を付け、父はおびたしい葉書に几帳面な筆で自分宛の宛名を書いた。

「元気な日はマルを書いて、毎日一枚ずつポストに入れなさい。」と言ってきかせた。妹は、まだ字が書けなかった。

宛名だけ書かれた嵩高な葉書の束をリュックサックに入れ、雑炊用のどんぶりを抱えて、妹は遠足にでもゆくようにはしゃいで出掛けて行った。

一週間ほどで、初めての葉書が着いた。紙いっぱいにはみ出すほどの、威勢のいい赤鉛筆の大マルである。付き添っていった人のはなしでは、地元婦人会が赤飯やぼた餅を振舞って歓迎して下さったとかで、南瓜の茎まで食べていた東京に比べれば大マルにちがいがなかった。

ところが、次の日からマルは急激に小さくなっていった。情けない黒鉛筆の小マルは、ついにバツに変わった。その頃、少し離れた所に疎開していた上の妹が、下の妹に会いに行った。

小學一年級結束時的姐姐決定將學童疏散到甲府。姐姐在去年秋天已經上過同一所小學，現在已經撤離了，但是姐姐太年輕，不開心，所以她的父母沒有放手。然而，在3月10日對東京進行的空襲中，房屋沒有被燒毀，但在看到受害者的生命後，他決定不破壞整個家庭。

決定姐姐離開後，當時母親在黑暗的電燈下，用遮光的窗簾縫製了內褲，上面貼有珍貴の木炭，並貼上了名字標籤，父親用with草筆給自己寄了很多明信片。寫了

“在晴朗的日子裡，寫Mar並每天發表一篇。”我告訴他了我妹妹還不能寫。

我們放了一堆笨拙的明信片，只把地址寫在帆布背包裡，拿著一頓飯煮粥，然後我姐姐出去郊遊了。

大約一周後，我的第一張明信片到了。這是一個充滿活力的紅色鉛筆大圓圈，可以填充紙張。當地婦女協會在沒有陪同人員的情況下用紅米和魷魚年糕來歡迎我們，而且它一定比東京都大，甚至吃了南瓜的莖。

然而，丸子突然從第二天開始變小。苦澀的黑色鉛筆Komaru終於變成了十字架。在那個時候，我的姐姐已經疏散了一些距離，去看她的妹妹。

妹妹靠在學校大樓的

戰爭結束的四月，我小學一年級結束時的姐姐決定將學童疏散到甲府。姐姐在去年的秋天已經上過同一所小學，但已經撤離了，但姐姐太年輕，不開心，所以她的父母沒有放手。然而，在3月10日對東京進行的空襲中，房屋沒有被燒毀，但在看到受害者的生活後，他決定自己應該決定摧毀整個家庭。

決定姐姐離開後，當時母親在黑暗的電燈下，用遮光的窗簾縫製了內褲，上面貼有珍貴の木炭，並貼上了名字標籤，父親用addressed草筆給自己寄了很多明信片。寫道。

“在晴朗的日子裡，寫Mar並每天發表一篇。”我告訴他了。我妹妹還不能寫。

我們把一堆只寫在地址上的笨重的明信片放在一個帆布背包裡，拿著一頓飯煮粥，然後我姐姐出去郊遊了。

大約一周後，我的第一張明信片到了。這是一支充滿活力的紅色鉛筆，上面伸出很多紙。當地婦女協會在沒有陪同人員的情況下用紅米飯和魷魚年糕來歡迎她們，與東京相比，肯定是奧丸，後者甚至吃了南瓜的莖。

但是，第二天丸丸突然變小了。小黑鉛筆小丸終於變成了十字架。當時，我的姐姐已經疏散了一下，去看她的妹妹。

<p>下の妹は、校舎の壁に寄りかかって梅干しのたねをしゃぶっていたが、姉の姿を見ると、種をぺっと吐き出して泣いたそうなの。</p> <p>まもなくバツの葉書も来なくなった。三月目に母が迎えに行ったとき、百日咳を患っていた妹は、虱だらけの頭で三畳の布団部屋に寝かされていたという。</p> <p>妹が帰ってくる日、私と弟は家庭菜園の南瓜を全部収穫した。小さいのに手をつけると叱る父も、この日は何も言わなかった。私と弟は、一抱えもある大物から掌にのるウラナリまで、二十数個の南瓜を一列に客間にならべた。これ位しか妹を喜ばせる方法がなかったのだ。</p> <p>夜遅く、出窓で見張っていた弟が、「帰ってきたよ!」と叫んだ。茶の間に座っていた父は、裸足でおもてへ飛び出した。防火用水桶の前で、瘠せた妹の肩を抱き、声を上げて泣いた。私は父が、大人の男が声を立てて泣くのを初めて見た。</p> <p>あれから三十一年。父は亡くなり、妹も当時の父に近い年になった。だが、あの字のない葉書は、だれがどこにしまったのかそれとも失くなったのか、私は一度も見えていない。</p>	<p>牆上，吸乾梅子，但是她看到姐姐時，她似乎吐出種子哭了。</p> <p>不久之後，我甚至沒有得到徐的明信片。據說，當我母親三月份接我時，我的妹妹咳嗽得非常厲害，據說她躺在一個榻榻米墊子的蒲團房間裡，頭上滿是蟲子。</p> <p>姐姐回來的那天，我和哥哥從菜園裡收割了所有南瓜。我父親正在為他的小手責罵，這一天什麼也沒說。我和我的兄弟從大個到手掌上的Uranari排列了十幾個南瓜。沒有其他辦法可以取悅我的妹妹了。</p> <p>深夜，我的弟弟在凸窗上看著，“我回來了！”大喊。坐在茶中間的父親赤腳跳到前面。在消防缸前，他擁抱了飄飄的姐姐的肩膀，大聲哭了起來。我父親第一次看到一個成年男子大聲喊叫。</p> <p>從那時起 31 年。父親去世了，姐姐當時與父親親近。但是那張未簽名的明信片我從未見過誰去過哪里或丟失了。</p>	<p>妹妹靠在學校大樓的牆上，吮著梅梅的種子，但是當她看到妹妹時，她吐了種子哭了。</p> <p>不久之後，徐寄來的明信片就停止了。據說，當我的母親在三月份接我時，我的妹妹咳嗽得非常厲害，據說她躺在一個榻榻米墊子的蒲團房間裡，頭上滿是蟲子。</p> <p>姐姐回來的那天，我和哥哥從菜園裡收割了所有南瓜。我父親正在為他的小手責罵，這一天什麼也沒說。我和弟弟從大個到手掌上的Uranari排成一行，排列了二十個或更多南瓜。沒有其他辦法可以取悅我的妹妹了。</p> <p>深夜，我的弟弟在凸窗上看著，“我回來！”大叫。我父親坐在茶葉之間，赤腳跳到前面。在消防缸前，他握住了飄動的姐姐的肩膀，大聲喊著。我父親第一次看到一個成年男子大聲喊叫。</p> <p>從那時起 31 年。父親去世了，姐姐當時與父親親近。但是，從未寫過明信片的人，位置或丟失之處從未見過。</p>
--	--	--

3. JSL 教育と JFL 教育の異同点

本節では向田邦子「字のない葉書」を例に、第二言語としての JSL 日本語教育と外国語としての JFL 日本語教育の授業内容の異同点について考えてみたい。日本国内で日本語を学習者の母語以外の生活言語として教えるのは JSL で、台湾で日本語を外国語として学習者に教えるのは JFL である。語彙関係の教育では JSL でも JFL でも教

師は AI テキストマイニングソフトによってテキストの量的情報、質的情報のある程度、学習者に提供できる。一般的な感情表現も同じことが言える。また、文章の主題の検討、文章表現の味わい方などは国籍とは関係なく、同じような思考様式で読解することになる。

しかし、学習者の出身や立場、学習環境によって、テキストの内容について違った角度や視野からの考察が考えられる。日本での日本語教育の場合、日本の国語教育と同じように日本の戦争体験¹⁰、日本人の父親像、親子関係、家族関係、社会文化が重点になるかもしれない。それに対して、台湾の場合ならば、第二次大戦における台湾の立場、台湾人の親子関係、家族関係、社会文化に絞って考えてみれば、台日比較文化の結果を生かす、日本語によるストーリーテリングのことが考えられよう。

但し、同じ台湾人でも、時間の隔たりによって太平洋戦争に対する思いが違う。例えば、1975年、生き残った台湾籍アミ族日本兵李光輝氏がインドネシアの森から台湾に帰った出来事の記憶は筆者にはあるが、今の大学生にはなかろう。筆者の家族には太平洋戦争を体験したものがいるので、その時の話を聞いたことがある。しかし、戦後中国から来た家庭の子どもには違った戦争を体験した親を持つので違った戦争の話を聞いていると思われる。このように、それぞれの体験によって戦争文学に対する考察結果が違うのは当たり前である。

なお、「字のない葉書」における空襲、学童疎開、家庭菜園、食糧難、太平洋戦争時の年表、「字のない葉書」の内容の時間と作品が出版された1976年と現代との間の日本社会の変化、台湾と日本の交流などは台湾の日本語教育現場で考えられる学習項目だと思われる

¹¹。

¹⁰ 日本の中学校国語教科書に向田邦子「字のない葉書」をはじめ、戦争関連作品が少なくない。詳しくはフィリス・溝上（2013）を参照されたい。

¹¹ 過日、台湾で日本語教育に携わっている日本人教師から、授業中、台湾と日本との戦争問題とか国交断絶問題に関することを学生に聞かれても、あまり触れたくないので、できるだけはっきりと回答しないようにした、と聞いたことがある。回避しないで、事実を事実として認めるべきだと思う。

4. 台湾の日本語教師に求められる資質

日本語教育は言語文化教育の一環である。2020年現在、AIスマートスピーカーによる発音の練習、発話の練習、動詞受け身の転換練習などの教育事例があった。しかし、教育はただ言語形式の練習とか習得だけではない。外国語に接触することは言語形式と共に、異文化に触れるようになる。異文化に触れることによって、学習者の視野が広がり、考え方が変わるはずである。そして、異文化に接触することによって、問題を抱えるようになり、また、その問題を解決するために考えるようになる。考えることによって知恵が働き、成長するようになるはずである。このように問題を抱え、問題を解決し、知恵を深めるのは教育の本質ではなかろうか¹²。それがゆえに、今日の台湾の日本語教師はAIテクノロジーの便利性と有用性、経済性をうまく利用して日本語の言語形式を学生に教えると共に、言語文化教育の教師の役割の一環として、異文化理解能力育成、異文化交流能力育成に力を入れるべきである。言い換えれば、AIにできることはAIに任せて、AIにできないことは日本語教師が見つけて遂行するのである。このような日本語教師の役割への再認識をし、AI時代における人工知能と人間の役割分担を弁え、日本語教育におけるAI利用の基礎とでもいえるビッグデータの利用法、音声認識や形態素解析に必要な日本語学知識、日本語教育におけるAIテクノロジーの利用能力を高めるのが台湾の日本語教師に求められることかと思われる。

なお、テキストの語彙関係調査の結果はチューターの工具箱、日本語文章難易度判別システム jReadability、UserLocal AI テキストマイニングなどを利用したものであるが、その良しあしを判断するのは日本語学力、コーパス言語学力に深く関わっている。

¹² 東呉大学における卒業生への調査結果では、問題解決力が足りない、という回答がよく見られるが、それは意識にかかわるものだと思われる。普段、教室活動における問題意識、問題解決能力のことをもっと学生に意識させれば、自然に問題解決への認識が深まり、問題解決のプロセスを体験することによって自信が身に付くはずである。

5. おわりに

AIの進化によって2050年頃には日本における外国語教育自体が教科から外される、と浅野(2018)は予想している。しかし、AI時代に外国語教師が要らないというのはやや暴言ではないかと思う。前述したように、言語形式の学習におけるAIテクノロジーの便利性、有用性、経済性は外国語学習に有利である。しかし、外国語学習はただ言語形式の勉強だけではなく、外国語文化との接触による異文化認識、そして異文化との比較による母文化への再確認、母文化と異文化の異同による思考作業で人間性の向上も図られる。

AIを敵としないで、アシスタントと見なすことができれば、台湾における日本語教育も過日の反復練習に偏った機械的言語学習の作業から脱出して、人文的素養、テクノロジー的素養を含める、越境学習/教育の境地に達するのが夢ではないと思われる。その前提として考えられるのは教師の日本語学知識、日本語教育学素養及びコンピュータリテラシーの向上である。

野村(2019)で述べられているように、AI時代では問題意識を持つ人間は残る。そして働き方は知識だけに頼る「知識労働」から、直面した課題を解決するために、何を、どのように進めればいいのかを考えて遂行する「知能労働」に変化する。その変化に適応するために人間らしい感性、論理的思考力、推論力、創造力、遂行力、コミュニケーション力などが必要である。台湾の日本語教育に絞って考えれば、日本語教育を通してAI時代に必要とされる能力を学習者に身に付けさせるのが教師の役割である。

参考資料

向田邦子(2009)「字のない葉書」『向田邦子全集 新版⑥エッセイ 二 眠る盃』文藝春秋(初出:1976年『家庭画報』7月号)

参考文献

浅野享三(2018)「人工知能時代の外国語教育」『南山大学短期大学部紀要』終刊号、南山大学、愛知、pp.95-105

- 池谷裕二 (2020) 「未熟なロボットが役立つ予想外の理由」『週刊朝日』2020・5・8-15 合併号、朝日新聞出版、p.40
- 落合由治 (2019) 「日本語テキスト研究における AI によるテキストマイニング手法の応用可能性ー日本語教育内容の新軌道を探る」台湾日語教育學報 33 號、台湾日語教育學會、台北、pp.135-164
- 尾形聡彦 (2019) 「スマホで自動翻訳 44 言語 グーグルがアプリで」朝日新聞 2019 年 12 月 13 日、<https://www.asahi.com/articles/ASMDD6550MDDUHBI03V.html> (2020 年 3 月 1 日閲覧)
- 甲斐晶子・松葉龍一・合田美子・鈴木克明 (2018) 「受身形転換練習のためのスマートスピーカー (Alexa) 用機能の開発」日本教育工学会第 34 回全国大会
- 佐藤理史 (2019) 「「コンピュータが小説を書く日」はまだ来ない」AI と日本語教育国際シンポジウム会議予稿集、淡江大学日本語文学科・村上春樹研究センター主催、pp.3-8
- 佐藤由紀子 (2020) 「Google 翻訳にウイグル語など 5 カ国語追加で 108 言語対応に」ITmediaNEWS、<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2002/27/news052.html> (2020 年 4 月 30 日閲覧)
- 陳相州 (2019) 「運用 AI 技術的日語教學」『東吳大學 AI 應用研究研討會』東吳大學人工智慧應用研究中心
- 日本電信電話株式会社・大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 (2019) 「2019 年大学入試センター試験 英語筆記科目において AI が 185 点を獲得！」2019 年 11 月 18 日報道発表資料、<https://www.ntt.co.jp/ws2019/1911/191118a.html> (2019 年 11 月 28 日閲覧)
- 縫部義憲 (2001) 「言語文化教育学における日本語教育学の学的構築」『広島大学日本語教育研究』11、広島大学教育学部、日本語教育学講座、pp.23-31
- 野口悠紀雄 (2018) 『AI 入門講座 人工知能の可能性・限界・脅威を知る』東京堂

- 野村直之（2019）『AIに勝つ！』日本経済新聞出版社
- ユルマズ・フィリズ・溝上智恵子（2013）「戦争記憶の形成—中学校国語教科書の分析成—中学校国語教科書の分析」『図書館情報メディア研究』11巻2号、pp.51-60
- 頼錦雀(2020a)「テキストマイニングの読解指導への応用—司馬遼太郎「二十一世紀に生きる君たちへ」の場合」『台湾日本語文學報』第47号,台湾日本語文學會,台北、pp.1-23
- 頼錦雀(2020b)「比較読解の視点から見た村上春樹の紀行文—「讃岐・超ディーブうどん紀行」と「神戸まで歩く」の場合」『台湾日語教育學報』第34号,台湾日語教教育學會、台北、pp.151-175
- ポケットーク「ユーザーインタビュー②」
<https://pocketalk.jp/contents/voc/case-02>（2020年3月3日閲覧）

後記：本論文は淡江大學2020年「AIと日本語教育との協働」国際シンポジウムにての口頭発表稿を大幅に書き直したものである。